

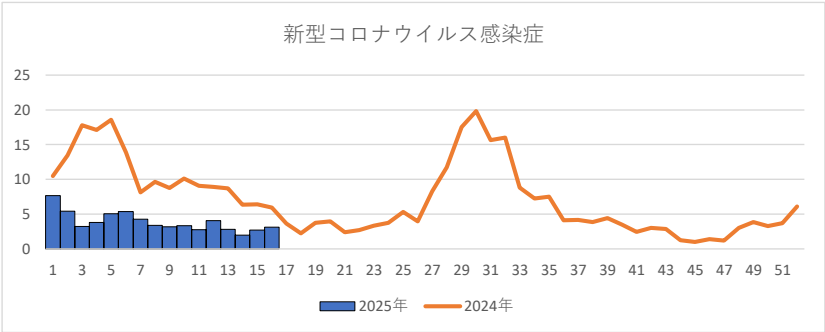
山城北保健所管内の感染症発生動向調査
(ARI定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

2025年 第16週 (4月14日～4月20日)

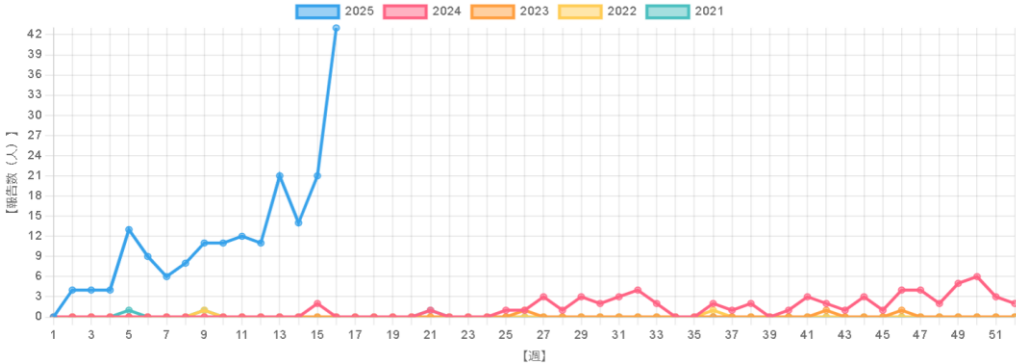
今週のコメント

- 「新型コロナウイルス感染症」の定点あたりの報告数は3.11 (15週2.70、14週2.00) と若干増加しています。
- 「百日咳」が全国的に流行しており、京都府でも例年に比べて報告数が多くなっています。長引く咳には注意し、乳幼児は予防接種を確実に行いましょう。
- 手洗いや手指消毒、咳エチケット等の感染症予防を行い、保育施設や学校での集団感染に気を付けましょう。

今週の注目グラフ



百日咳 京都府週当たり報告数 (5年間比較) (参考: 京都府感染症情報センター <https://www.pref.kyoto.jp/idsc/>)



今週の報告状況

疾患名	定点あたりの報告数 (前週比)	疾患名	定点あたりの報告数 (前週比)
インフルエンザ	0.78 (1.56)	手足口病	— (0.00)
新型コロナウイルス感染症	3.11 (1.15)	伝染性紅斑	0.83 (1.46)
RSウイルス感染症	0.17 (0.00)	突発性発しん	— (0.00)
咽頭結膜熱	2.33 (1.36)	ヘルパンギーナ	— (0.00)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.33 (2.12)	流行性耳下腺炎	— (0.00)
感染性胃腸炎	6.83 (1.77)	急性出血性結膜炎	— (0.00)
水痘	— (0.00)	流行性角結膜炎	0.33 (0.00)

定点あたりの報告数 = 1週間の報告件数 / 定点数

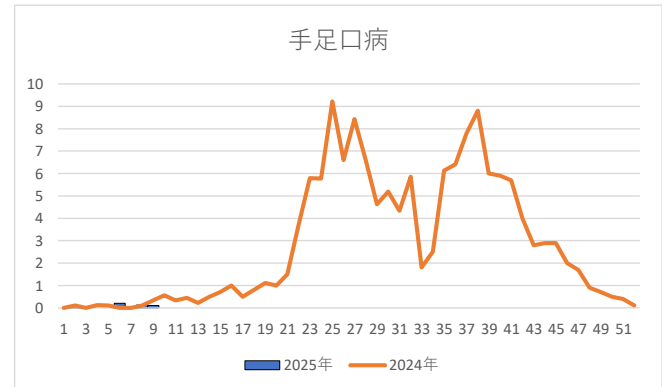
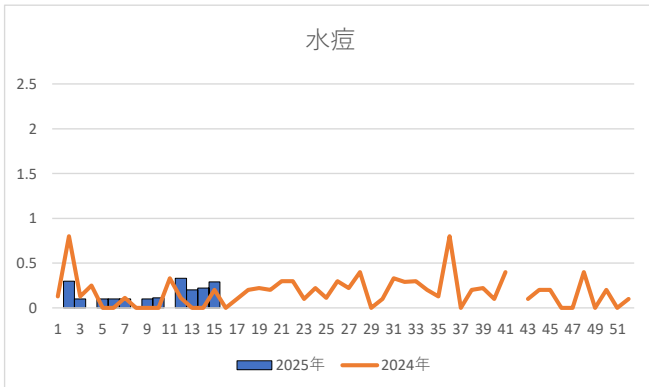
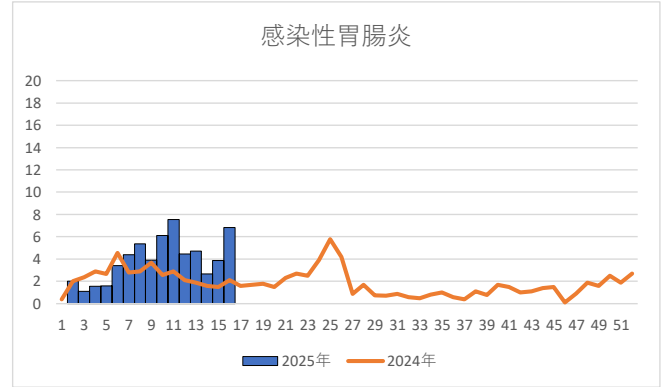
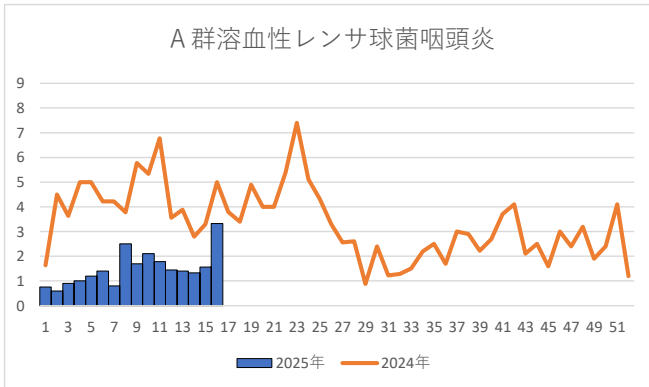
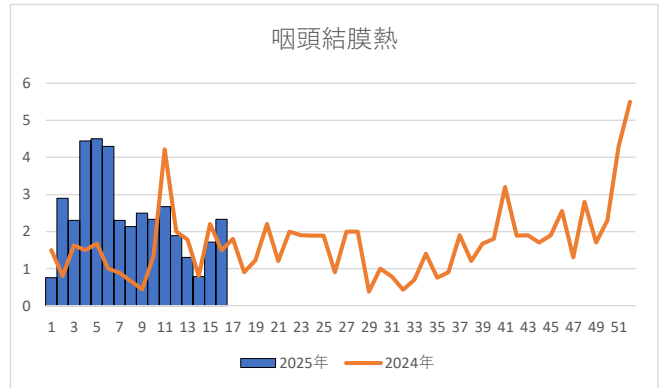
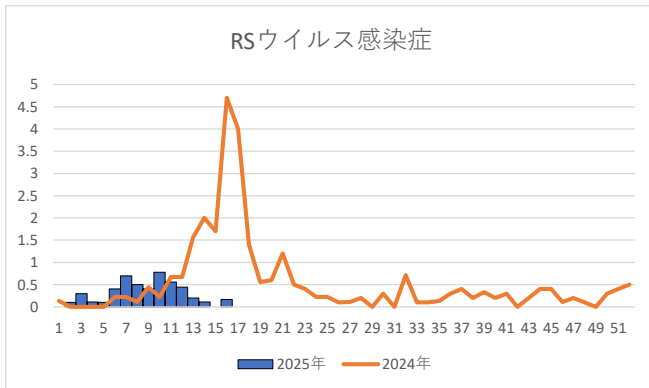
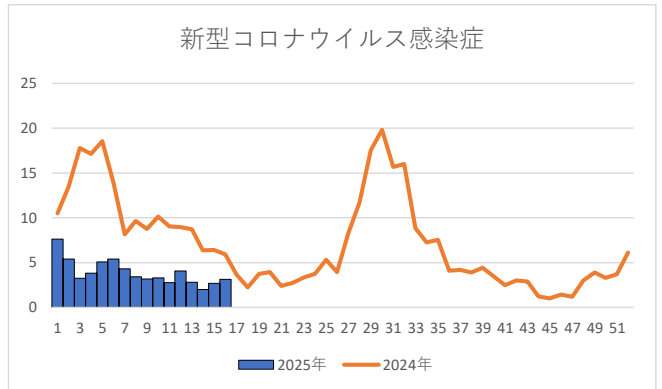
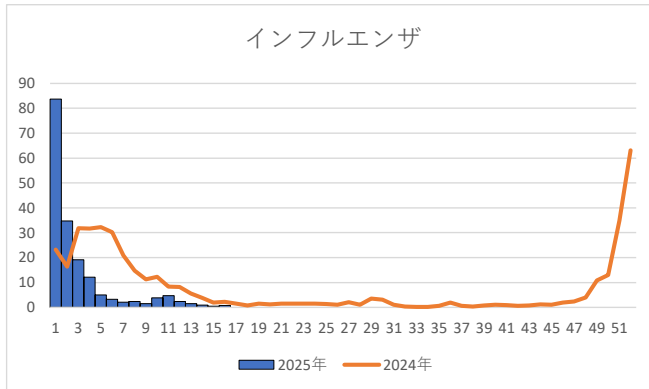
全数把握疾患

分類	報告
1類感染症	報告なし
2類感染症	結核 (1件)
3類感染症	報告なし
4類感染症	報告なし
5類感染症	侵袭性肺炎球菌感染症 (1件)、百日咳 (7件)

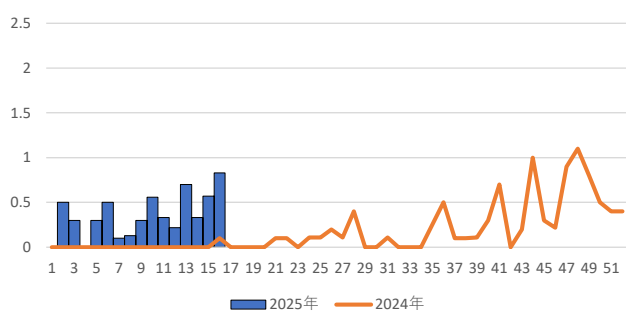
※このデータは速報値であり、今後変更等が行われる可能性があります。ご了承ください。

参考: 京都府感染症情報センター <https://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

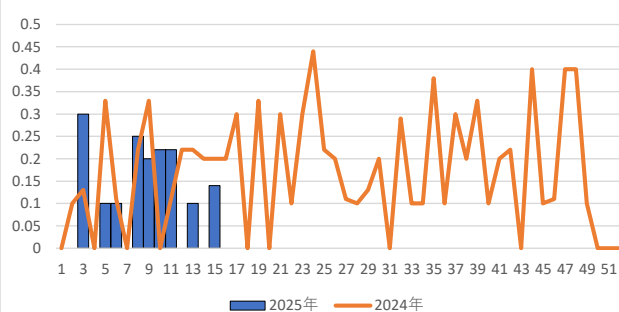
山城北保健所管内定点当たり報告数推移



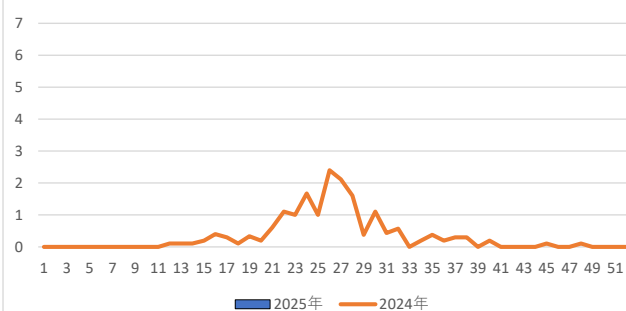
伝染性紅斑



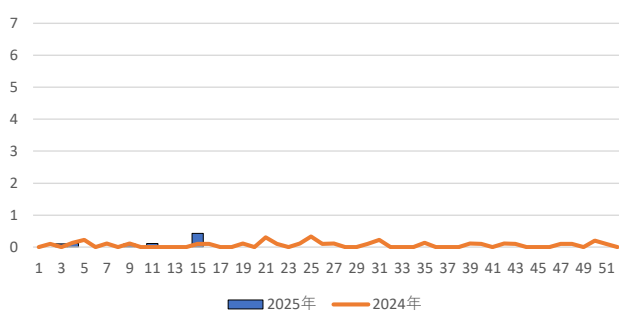
突発性発疹



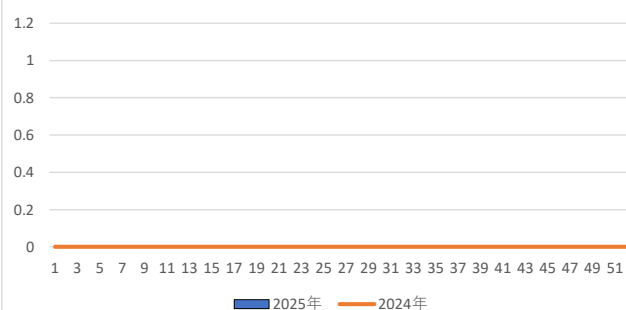
ヘルパンギーナ



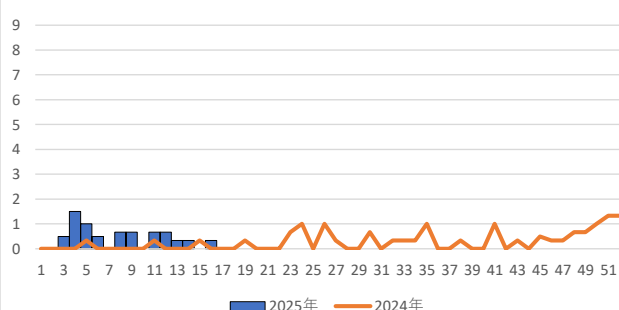
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



急性呼吸器感染症（ARI）とは

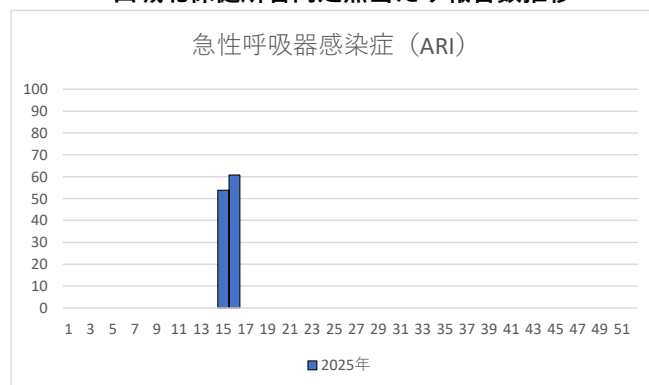
急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection：ARI)とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

令和7年4月7日からARIが感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点サーベイランスの対象となりました。以下の症例定義（※）を満たす場合に報告対象となることから、インフルエンザやCOVID-19等と診断された場合でも、ARIの症例定義の症状があれば両方の報告対象となります。

※ 咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁(びじゅう)、鼻閉(びへい)のいずれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

	定点あたりの報告数（前週比）
急性呼吸器感染症（ARI）	60.75（1.13）

山城北保健所管内定点当たり報告数推移



※ 急性呼吸器感染症：2025年4月7日から集計を開始

参考：京都府感染症情報センター 京都府におけるARI発生状況 <https://www.pref.kyoto.jp/idsc/old/ari.html>